

癌化学療法輸液約束処方 急性骨髄性白血病

癌種 急性骨髄性白血病
 レジメン名 AML5 Ven+LDAC

| 薬品名 (商品名) | 一般名 | 略号 | 標準投与量 | 投与経路 | 投与日 | 投与時間 | 1クール期間 |
|-----------|---------|------|---------------------|------|---------|------|--------|
| キロサイド | シタラビン | LDAC | 20mg/m ² | sc | Day1~10 | 皮下注 | 28日間 |
| ベネクレクスタ | ベネトクラクス | Ven | 備考参照 | po | 連日 | 1回食後 | |

【DAY 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10】

キロサイド mg / 皮下注

< 備考 >

・ベネクレクスタの投与量に関する事項

①初回100mgから開始し、1日毎に増量していく (用量漸増期)

1日目100mg→2日目200mg→3日目400mg→4日目600mg

②4日間の用量漸増期終了後、維持投与期 (600mg) に移行

③CYP3A阻害剤またはP糖タンパク阻害剤との併用の際には減量を行う

CYP3A阻害剤との併用時の用量調節基準

| 併用薬剤 | 用量漸増期 | 維持投与期 |
|--------------|-------------|----------------|
| 中等度のCYP3A阻害剤 | 半量以下に減量すること | |
| 強いCYP3A阻害剤 | 併用しないこと | 100mg以下に減量すること |

④休薬: 好中球減少Gr4→Gr3以下に回復後、休薬前と同じ用量で再開

→再発した場合はGr3以下に回復後、投与スケジュールを変更して休薬前と同じ用量で再開

(連日→21日間服用7日間休薬)

血小板減少Gr4→Gr2以下に回復後、休薬前と同じ用量で再開

→再発した場合はGr2以下に回復後、投与スケジュールを変更して休薬前と同じ用量で再開

(連日→21日間服用7日間休薬)

⑤腫瘍崩壊症候群の予防を適宜行う (必要に応じ、治療前から高尿酸血症治療剤の投与を行う)

R3.5.14作成